

---

# Great detective

桜桃

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

G r e a t   d e t e c t i v e

### 【Nコード】

N 7 6 1 4 M

### 【作者名】

桜桃

### 【あらすじ】

組織壊滅後。

高校2年と、無事、復帰できた新一。  
だが、やり直せるのは別だという。  
蘭と同級生でいる手段はただ一つ、  
全教科80点以上・・・

この話は、名探偵コナン 自作小説  
にも掲載されています。

## 前編

「工藤、お前が復帰したのは実にめでたい。だがな、無事、高校2年としてやりなおせるかどうかは別だ。」

「・・・は？」

「そこで、復帰祝いテストを出す。全教科80点以上だった場合、やり直し可能。以下だった場合、やり直しは不可能だな。」

「うそだろ!？」

「冗談だと思うなら、校長に直接聞くんだな。」

うそじゃねえ。

俺は思った。

80点以上って、やっと退院して戻ってきたというのに、

テストかよ・・・

しかも、今の今までやってなかった。

本気でテスト対策しなきゃな。

あれ？俺って、テスト対策したことあったっけ。

「テスト日は3日後。それまでに勉強しとけよー。」

担任は出て行った。

くそー、人事だと思って・・・

く工藤邸く

「・・・いち、新一！」

「ら、蘭！？」

「どうしたの？考え込んでたみたいだけど。」

「いや、別に。ただ、テストどうしよっかなってさ。」

「あー、80点以上ってやつ？」

「どうすっかな。」

「どうすっかなって・・・取れなかったら、進級できないんでしょ？」

「まあな。」

「まあな。って・・・」

「どうにかなるさー！ほら、夕飯できたんだろ？ささと食おうぜ！」

「あ、うん・・・」

（どうやったら、新一は本気になってくれるかな？）

蘭は思い切って言うのだった・・・

## 前編（後書き）

蘭 「どうすれば、テスト対策してくれるんだろ・・・」

桜桃 「大丈夫だの繰り返しだしね。」

蘭 「新一は私と進級できなくてもなんとも思わないのかな・・・」

桜桃 「そんなことないよ！うん。私が保証する。」

蘭 「ありがとう。でも、全部それって、桜桃ちゃんの手にかかってるってことでしょ？」

桜桃 「え？で、でも、私の書く小説はみんな暴走しちゃうし・・・」

「

蘭 「じゃあ、新一が暴走しちゃったら、進級できなくなちゃうかもしれないの？」

桜桃 「ち、ちが・・・っていない・・・」

## 後編

（よし、これに決めた！）

「新一〜！」

書斎にいる新一を呼ぶ。

「ん〜。」

「ねえ、全教科80点でやつあったでしょ？」

「ああ。」

「もし、90点以上取れたら、一日、なんでも言っこと聞いてあげるよ。」

「まじ？」

「うん。ただし、取れなかったら一生荷物もち。わかった？」

「あ、ああ・・・」

しぶしぶ承知。

（いくら新一でも、全教科90点以上は無理よね。）

～～～テスト当日～～～

（無事、新一が進級できますように。）



\*\*\*\*\*

「やっと終わった。」

「手ごたえはありそう?。」

「さあな。なんせ、昨日までテストやってないかったし。」

「ええ!?。」

「大丈夫だっつーの。心配な国語と音楽は勉強したし。」

「テストは国語と音楽じゃないのよ!?。」

「わぁってるよ。」

蘭はあきれて言葉もでなかった。

「し、進級できなかったら、二度と顔はあわせないんだからね！」

「ま、見てろよ。」

（新一のことだから、８０点以上はとれているだろうけど・・・

『もし、９０点以上取れたら、一日、なんでも言うこと聞いてあげるよ。』

って言った私の言葉。

少しでもがんばってほしかったんだけどな・・・

なんでも言うこと聞いてあげるじゃ、だめだったかな・・・）

次の日

「工藤。これだ。」

クラスのみんなが見守る中、新一はテストを返却された。

クラスメートはどきどき。

もちろん、蘭も。

新一は余裕のようだが・・・

「く、工藤！結果は？」

中道が一番に聞く。

「別にどうってことねえよ。」

「し、進級はできるんだろ!？」

「ああ、それはばっちし。」

「よっしゃー!、やったー!と歓声。」

「よこせ!見せろ!！」

「ちょ、おい!」

「さて。工藤の点数は・・・」

後藤は黙る。

「工藤、お前がにくい。」

「どうしたのよ。後藤君、見せて。」

「お、おい園子！お前が見ていいもんじゃねえ！」

「失礼ね！いいじゃない。えーと・・・」

園子はだんまり・・・

「新一君、私、貧血になりそうよ。」

「な、何点だったの？」

「・・・クト・・・」

「え？」

「パーフェクト！全部満点！全教科100点！！」

「うそ・・・なんの冗談よ、園子。」

「うそだと思っんなら見なさいよ！これ！！」

結果表を蘭に突き出す園子。

目の前に繰り広げられる文字は

科	国語	数学	社会	理科	英語	音楽	技術	家庭
美術	保健体育							
	100	100	100	100	100	100	100	100
	100	100	100	100	100	100	100	100

「ほんとだ・・・」

「でしょ！？あやつ、ただの人間じゃないわよ。絶対！」

「ただの人間だよ。」

「うそお。だって、国語と音楽しか勉強しなかったんでしょ？」

「この声に一回はなれわめく。」

「くそー！」

「にくいー！..」

「カンニングしたんじゃないの!？」

口々に言い合う。

「ばーろ!んなことすつかよ!」

つと新一は言い、

「約束、忘れんじゃないぞ。」

ぼそつと言ったのだ。

まだまだ未来はこれから・・・





## 後編（後書き）

現実味がないですね・・・

全教科100点なて、この世に存在するんでしょうか・・・

し・か・も！勉強しないで・・・

では、おやすみなさいませ～

桜桃

## 話会（前書き）

雑談にならないので、  
話し合いてきな感じです・・・

## 話会

桜桃 「全教科満点なんて無理無理。」

園子 「私、倒れそうになったわよ。」

新一 「園子がそんなに倒れるような奴かよ……」

園子 「聞こえてるわよ。」

蘭 「でも、私も絶句しちゃった。」

桜桃 「だよね、満点なんて狙おうと思えばできるけど、勉強せずにつてぜーったい無理！」

蘭 「うんうん。」

新一 「国語と音楽はちゃんと勉強したって……」

桜・蘭 「国語と音楽だけでしょ！」

園子 「数学と理科はわかるけど、社会とか、家庭科とか、よく満点になれたもんだわ。」

新一 「教科書は一通り見たし、大丈夫かなって感じだったからな。」

園子 「むかつく・・・。」

蘭 「どうしたら、そんなふうになれるか知りたいわ。」

新一 「俺はどうしたらテスト対策ができるか教えてほしいよ。」

三人 「は？」

新一 「俺、今までテスト対策したことねえもん。」

園子 「ま、まって。新一君って、いつもテストで一番だったわよね？」

蘭 「うん。どんな対策してるんだろって思って、聞いたら知らんって言うし・・・。」

新一 「だから、対策もなにも、してねえから、知らんって言ったんだよ。」

桜桃 「神様って意地悪・・・。」

園子 「本当よ！なんでこやつにこんないい思いさせんのよ！」

新一 「いい思いつて・・・あ。」

三人 「？」

新一 「そついや、蘭からまだ、約束守ってもらってねえ。」

桜・園 「約束？」

新一 「作者がとぼけてどうすんだよ。」

桜桃 「だってえ、知らないもん。わざとらしく」

蘭 「約束・・・ああ、朝昼晩ご飯作ってあげるって言ったやつ？」

新一 「ちげーよ！」

蘭 「じゃ、えーと肩叩き？」

新一 「俺が頼むか！」

蘭 「えつとねえ、じゃーあ・・・」

園子 「長くなりそうね・・・」

桜桃 「同感・・・暴走しちゃった・・・」

園子 「ちゃんと責任もって管理しなさいよ。」

桜桃 「だって、新一と蘭は暴走すると手におえなくなっちゃうし、

とくに新一は・・・ね？」

園子 「そうねえ。蘭のこと、一途だし。ある意味独占欲だったりするわよね。」

でも、それを蘭が知らないっていうのもおかしい話よね。」

桜桃 「ほんと・・・まあ、徐々にがんばっていきよ・・・。」

園子 「がんばんなさいよ?。」

桜桃 「ありがとう・・・。」

まだ、例の夫婦は話をやめなかった。

新一と蘭の約束が果たされる日は、

無事、くるのだろうか。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7614m/>

---

Great detective

2011年10月7日03時45分発行